

授業評価アンケート報告書

—よりよい授業への改善を目指して—

2017

四條畷学園短期大学

FD委員会

目次

1. 2017年度「授業評価アンケート」の改訂について・・・・・・・・・・1
2. 2017年度「授業評価アンケート報告書」から・・・・・・・・・・2
3. 総括・・・・・・・・・・3

別紙 1 学生による「授業評価アンケート」の実施について

別紙 2 中間アンケート 自由記述用紙

別紙 3 2017 年度前期「授業評価アンケート報告書」（入力フォーム）

《別紙 1～3 は、後期についても同じ内容・様式であり、前期分だけを掲載》

付表 「授業評価アンケート報告書」

2017 年度前期

2017 年度後期

《保育学科→ライフデザイン総合学科→「総合福祉コース」→非常勤教員の順》

1. 2017年度「授業評価アンケート」の改訂について

本学では、2005年度から全授業科目を対象に、学生が個々の授業を評価するアンケートを実施し授業改善を進めてきました。2011年度からは、学生自身の授業への取り組み姿勢を問う項目を新たに設置し、教員の取り組み姿勢と授業内容に関する項目を整理しました。それぞれの項目についての回答は5段階で示され、学内平均値と合わせて教員にフィードバックされます。それを受けて教員が自己点検報告書を作成する流れは継続されました。

3度目の改訂となる今回の最大の改訂点は、授業評価の基準の明確化です。学生の授業に対する満足度を構成する要素は何か、総合的に良い授業とはどのような授業を指すのか等について、FD委員会で議論を重ね、授業は到達目標の達成すなわち学修成果によって評価されるべきではないかとの結論に至りました。

教員は到達目標達成のために学生の積極的な授業への参加を促すための工夫を行ったかどうかに加え、実際の学生の成績から到達目標の達成状況を、学生は授業時間外に学習に当てた時間を問われることになりました。

また、これまで期末に実施してきたため、アンケートに回答した学生へのリターンが少ない（授業が終了するため）等の声を受け、15回の講義期間中の7から8回目に中間アンケートを導入しました。教員は、中間アンケートで得た学生の意見や要望をただちに反映させた授業が可能になりました。学生もともにより良い授業をつくるという授業への参加意識を高めるねらいもあります。

さらに、授業評価アンケートの対象を教員が特に課題意識をもっている授業科目に絞ることで、学生の回答負担を軽減し、教員も「授業評価アンケート報告書」（「自己点検報告書」の名称と記載項目を改訂）作成において、十分な時間をかけて学修成果と関連づけた多面的な検討が可能になるのではないかと期待するところです。

2. 2017年度「授業評価アンケート報告書」から

専任教員は2科目（2クラス）、非常勤教員は1科目（1クラス）を任意で選択し、中間アンケートを実施、期末の最終アンケートを経て授業評価アンケート報告書を作成します。2017年度に提出された報告書は、前期53授業、後期43授業でした。（付表参照）

以下は、報告された内容を設問ごとに概観したものです。

①この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由

必ずしも課題意識のある授業が選択されたわけではなく、非常勤教員の場合は「担当科目がこの科目のみ」という理由が散見されました。専任教員にも「他の授業がオムニバスで中間アンケートの実施ができないため」「比較対照するため」「率直な意見がもらえそうなクラスだと思うため」等との理由がありました。

一方で、課題意識として上げられたものは「最も授業準備に力を入れている」「集中しにくい」「内容が難しい・苦手とする学生が多い」「授業形態が特殊」「複数教員が関わる授業で課題が多い」「復習課題を新たに課したことが到達目標達成に寄与したか知りたい」等がありました。

②中間アンケートの結果を受けて改善・工夫したこと

「特に要望がなかった」との回答は1割に満たず、ほとんどの授業で改善・工夫した内容が記述されていました。「授業進度の調整」「板書」「きめこまかな指示」「視聴覚教材の導入」「具体的な事例の提示や説明等」「マニュアルや課題プリントの作成・配布」等があげられました。空調や照明など、授業環境に関するものも見受けられました。

学生の要望に応えられない場合は、教員の意図や学習上のねらいについて理解を得られるよう説明を行ったという報告もありました。

③到達目標の達成状況（今後の課題も含む）

到達目標の達成状況に関して、概ね以下の三つの観点からの記述が多く見られました。

一つ目は、教員と学生の評価の一致・不一致に関するものです。二つ目は達成状況と学生が予習・復習等の時間外学習に当てた時間との関連について、三つ目はグループワーク、ディスカッション等の実施や中間アンケート後の改善との関連を述べたものです。

到達目標に達成しなかった学生に対して、さらなる授業改善の必要性に言及した報告も少なからず見受けられました。

3. 総括

新方式での実施に戸惑いの声もありましたが、専任教員は全員、非常勤教員もほぼ全員に近い数の教員が参加し、FD活動の組織的な実施が果たせたと考えています。

対象科目の任意選択に関して、選択の余地がない場合も多々ありましたが、教員・学生とも実施負担は減少しました。

新たに導入した中間アンケートについて、教員と学生が授業について話し合うきっかけとなった、すぐに改善の効果が見えた等の声も届いており、概ね役に立ったと好評でした。

報告書の記述からは到達目標の達成のために何が必要か、それぞれの教員が真摯に向き合った様子がうかがえます。到達目標を達成できたとする報告には、他の教員も共有できそうな授業上の工夫や指導法が記載されているものもあります。報告書の公開の意義がこうした点にも見出せるのではないのでしょうか。

到達目標の達成状況を授業評価の基準とした今回の改訂が、教員と学生が同じ目標を見つめ、その目標達成に向かって授業をつくりだしていく一助となれば幸いです。

平成 29 年 4 月吉日

各 位

四條畷学園短期大学 FD 委員会
副学長・FD 委員長 榊原 和子

学生による「授業評価アンケート」の実施について

平素より本学の教育・学生指導にご尽力賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今年度より、さらなる授業改善・教育力向上に向け、新方式での授業評価アンケートを実施することになりました。円滑な実施にご協力賜りますようお願い申し上げます。

新方式は、「学生の満足度による授業評価ではなく、授業到達目標の達成度（学修成果）を基準にして、学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする」「中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める」以上 2 点をねらいとしております。

また、アンケート対象とする授業科目は、担当授業から専任教員は 2 科目（2 クラス）、非常勤教員の方には 1 科目（1 クラス）を任意で選択していただくことになりました。今回よりアンケート結果だけでなく、中間アンケートや学修成果とも関連づけて、これまで以上に多面的なご検討（「授業評価アンケート報告書」のご作成）をお願いすることになりますので、パイロットスタディとしての選択とご理解いただければ幸いです。

なお、上記「授業評価アンケート報告書」は、本学ホームページでの公開を予定しております。あらかじめご了承ください。

詳細・日程につきましては、別紙『授業評価アンケート実施要領』をご覧ください。

上記、宜しくご理解いただき、ご協力のほど重ねてお願い申し上げます。携帯電話等を用いたアンケート調査で、何かと進め方等にご心配な先生方もいらっしゃるのではと存じます。ご質問等ございましたら、FD 委員にお問い合わせください。

以上

平成 29 年 4 月吉日

授業評価アンケート実施要領

四條畷学園短期大学 FD 委員会

新方式のねらい

- 学生の満足度による授業評価ではなく、授業の到達目標の達成度（学修成果）を基準に学生・教員双方が評価することで、授業の課題・改善点を明確にする。
- 中間アンケートの導入により、学生の授業への参加意識を高める。

実施対象

専任教員：担当授業科目のうち 任意の 2 科目（又は同一科目 2 クラスでも可）

非常勤教員：担当授業科目のうち 任意の 1 科目＝1 クラス

※注 複数の教員が 15 回授業の途中で交代するオムニバス授業は、中間アンケートの結果が反映されないので授業評価アンケートの対象から除外

実施スケジュール

4/5～	授業 1 回目～	授業の到達目標の周知 ・シラバス記載の到達目標（授業終了段階で、学生にできるようになってほしい事柄）を学生に明確に示す
5 月 下旬頃	授業 8 回目までに	授業評価「中間アンケート」の実施 ★1 1. アンケート用紙を教員が配布 （A5 サイズ：事務室で必要枚数を受けとる） 2. 学生が回答した用紙を教員が回収 *FD 委員会に提出は不要です 3. 翌回、学生の意見・要望等をフィードバック、 授業改善に活用する
7 月中旬 ～7/28 まで	授業 14～15 回目	授業評価アンケートの実施 ★2 ・学生はユニパにログイン、回答する ・集計結果の閲覧期間 7/29～9/30 *システム上、学生は結果を閲覧できません
～8/31 ㄨ切	成績評価後	授業評価アンケート報告書の提出 ★3 ・教員はユニパにログイン、回答する

★1-3 時期が近づきましたら、改めてご案内差し上げる予定です

実施内容

< 学生用 >

《中間アンケート》

- 問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。
- 問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。
- 問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

《最終アンケート》

- 問1 中間アンケートで出された学生の意見、要望に対する取り組みは見られましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問2 この授業は、積極的な参加を促すための工夫（質疑応答、課題の発表、グループワーク、コメントペーパーなど）がされていましたか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない
- 問3 この授業の予習・復習および課題に当てた時間は、1週間でどのくらいですか。
1. 3時間以上 2. 2～3時間 3. 1～2時間 4. 30分～1時間 5. 30分未満
- 問4 この授業のシラバスに示されている到達目標をどの程度達成できたと思いますか。
1. A (90～100%) 2. B (80～89%) 3. C (70～79%) 4. D (60～69%)
5. E (59%以下)

< 教員用 >

《授業評価アンケート報告書》

(各欄 200 字以内)

- 問1 この科目（クラス）を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。
- 問2 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。
- 問3 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい（今後の課題も含む）。

授業評価アンケート（中間アンケート）

このアンケートは、履修生の学修成果を上げるため、授業をより良くする目的で実施するものです。記述内容は成績評価に関係しません。

問1 この授業の良い点を具体的に述べて下さい。

問2 この授業について改善してほしい点を具体的に述べて下さい。

問3 あなたは、授業中の分からないことや不明な点を質問したり調べたりしましたか。（あてはまるもの一つに○をつけて下さい）

1. そう思う 2. ややそう思う 3. あまり思わない 4. そう思わない

【短期大学】授業評価アンケート報告書

授業評価アンケートを実施された科目についてご入力ください。
よろしくお願いいたします。

【学期】

【年度】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各200字以内でお願いします。)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

以下、授業評価アンケートを2科目とられた方のみご入力下さい。

【年度】

【学期】

【授業コード】

【科目名】

【お名前】

以下の質問にお答え下さい。(各200字以内でお願いします)

1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。

2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。

3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)

ありがとうございました。

2017年度前期「授業評価アンケート」報告書

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
合田 誠	2133211	社会福祉	15回の単独授業のため。担当している、他の科目は複数教員で分担授業をしているので、学生の評価を知るには、単独授業が適していると判断しました。	中間アンケートでは、ほとんどの意見が、満足しているとの返答であった。数少ない指摘としては、授業が進むのが少し早いとあったので、翌週には、できるだけ横道にそれないように授業を進めることを説明しました。	約7割の学生が80%以上の達成をチェックしている。数値通りに受け取れば、大変満足できるものではあるが、定期試験の結果と比較すると齟齬がある。
淡路 和子	2122011	音楽 I (Aクラス)	音楽の関係の授業の中で、唯一1年生全員が履修しており、学生の意識や実態を調査したい教科だから。	中間アンケートの結果を受け、ピアノ担当の教員が、よりきめ細かく予習・復習について指示をするようにした。	Aクラスは目標達成率を高く評価している学生が多く、予習・復習に当てた時間も多かった。しかし、毎日1時間以上ピアノに向かうという目標には多くが届いておらず、より一層の指導、励ましが必要と感じた。
	2122012	音楽 I (Bクラス)	音楽の関係の授業の中で、唯一1年生全員が履修しており、学生の意識や実態を調査したい教科だから。	中間アンケートの結果を受け、ピアノ担当の教員が、よりきめ細かく予習・復習について指示をするようにした。	Bクラスは、予習・復習に当てた時間は学保クラスに比べると多かった。しかし、Aクラスに比べて目標達成率を低く見ている学生が多く、より一層の指導、励ましが必要と感じた。
曾和 信一	2133051	障害児保育	当該科目は、1年次生の演習授業で、講義科目と比較して少人数で、肌理細かい授業が行えるものと考え、そのことを検証すべく、授業評価アンケートの対象に選びました。	授業の改善・工夫したところとして、手話ソングを採り入れ、簡単な手話の理解を促したこと、絵本について、授業テーマに即したものを取りあげたこと、ビデオ鑑賞について、視覚的な理解を深めるように工夫しました。	学生の成績から見ると、大半の学生がほぼ合格点に達しており、その目標に到達できたと思われます。とは言っても、後期の授業担当教員に授業内容面での連携をより密接に行っていくことが残された課題のひとつだと思います。
	2133142	家庭支援論	当該科目は2年次生の講義科目で、1年次生とは異なった授業評価がなされるものと考え、授業評価アンケートの対象に選んだところでした。	パワーポイントによるプレゼンテーションでは、図表を多く採り入れるとともに、ビデオ鑑賞について、視覚的に訴えることで、できる限り授業に興味を喚起するものを選択するように工夫しました。	授業評価アンケートの結果及び学生の成績から見て、その到達目標をクリアしていると考えます。もっとも、授業内容の更なる理解を促すべく、現場での実践に即した学びを深めていくことが今後の課題であると思います。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
長谷 秀揮	2136632	保育実習指導 I	この授業は、前期の担当の中で、最もと言ってよいほど授業準備や参考資料等の作成に時間をかけ、そして力を入れている科目であるので、教員として学生の評価をぜひ知りたくと考え、対象に選びました。また、この授業は3コマあり、その中で選択したこのクラスは3限目で昼休みの後であるため学生の立場で考えると、おそらく一日の中で時間的にも精神的にも一番余裕があり、従ってアンケートに回答し易いのではないかと考え選びました。	授業の進むスピードが早い、という学生が若干いたので、進み具合を少しペースダウンし改善した。しかし15回の授業回数の中ですべきことが多くあるので、配慮すると同時に、4月当初に配布し説明している授業計画について改めて説明し、学生が授業の見通しをよりしっかりと持てるように工夫しました。毎回授業の冒頭で実施している漢字テストについては、「役に立つ」、「良い取り組みだ」等の意見がほとんどで、意を強くしました。	回答から全体の90%弱の学生が到達目標をほぼ達成できていると言えるが、十分に達成できていないと考えられる学生も3%程度いる。より多くの学生が到達目標を確実に達成することができるような配慮が必要であり、学生の理解と習熟を促す工夫がさらに求められると考えています。また、短大における初めての実習に向けた授業であるので、課題が多くなるものの、その精選と内容の吟味がより一層必要であると考えられます。
	2124033	生活 I	自分が担当している授業科目に対する評価や意見などを、出来るだけ多くのクラスの学生から貰えるようにと考えて、「保健実習指導 I」での授業評価アンケートを実施した。自分のクラスとは違うクラスを選び、そしてさらに、異なる授業科目の方がより多様な評価や意見がもらえるのではないかと考え、「生活 I」を対象に選んだ次第です。	授業で説明や解説の為に活用しているパワーポイントについて、進めるスピードが少し速いという意見が若干ありました。したがって、その対応として授業中に映しているパワーポイントをノートに書くための時間を長めに取り、より確実にそして丁寧に書き留められるように再度、説明し確認するようにしました。	回答から見て、全体の24%の学生が到着目標をとともよく達成することが出来ていて、73%の学生もほぼ達成目標を達成することが出来ていると考えられます。しかし、残りの3%の学生については、達成状況が芳しくなく、それゆえ、授業で取り上げる具体的な内容の精選や見直しと共にグループワークや視聴覚教材等のよりいっそうの活用など、授業の工夫・改善がさらに必要と考えられます。
林崎 治恵	2121011	言葉と表現 I	一限目授業であったこと、授業に集中し進めやすいクラスの雰囲気があったこと、授業担当者が感じていることと学生の実態とのずれを知りたかったため。他に対照的なクラス(3時限目)のアンケートをとった。	改善点は「特になし」が多かったものの、パワーポイントのスライドの切り替えや授業進行速度が早い時があるという意見があり、その点についてはさらに意識し、時に学生に問いかけるようにした。	学生の成績と到達目標達成は、同程度であった。予習・復習・課題に当てる時間は学生間格差があることは想定していたが、30分以下の学生が予想以上に多く、適切な取り組みを促すようにしたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
鍛冶谷 静	2131371	幼児臨床心理学	教員からの投げかけに一番反応の良いクラスであるが、一部の学生がしばしば脱線気味になることが気にかかっていたため。	予想通り私語が気になるという声があったが、大半は教員や他の学生の多様な意見が聞けるので授業への興味が持続できるという肯定的な意見だった。教員が答えを教えるだけの授業にならないよう意識した。	殆どの学生が自己評価では合格点をつけているが、実際の成績とはギャップがある。時間外学習をしていないことが分かったので、学修内容の確認と定着が課題と考えている。
	2131373	幼児臨床心理学	同科目別クラスとの比較対象として選んだ。	考えることが難しいという学生と、考えることを通して関心が深まったという学生がいた。課題の提示方法を試行錯誤中である。	基本的な学習態度が身につけている学生が多く、まだまだ余力がありそうである。学生同士の活動を増やすなど、さらに上を目指す授業展開を考えたい。
山田 秀江	2131032	保育原理	特別深い理由はありません。同じ科目を2コマ持っていて、その最初のクラスだから選びました。	視聴覚教材の要望が一人の学生からあり、それを取り入れると授業前に伝えたら、ある学生から「眠ってしまうので視聴覚教材は使わないでほしい」と言われ困った。今後、有効的な活用方法を考える必要があると思います。	概ね達成できていると思います。今後は授業以外の学習時間が増えるように、予習復習の取り組み方を改善していきたいです。
	2136572	教育実習指導Ⅱ	特別深い理由はありません。同じ科目を2コマ持っていて、その最初のクラスだから選びました。	特に要望がなく、大きな改善はしていません。	概ね達成できていると思います。
香月 欣浩	2134332	保育内容演習(総合表現)(3.4組)	目標に向かって協力することが難しいクラスであり、指導が難しいと感じていたから。	道具の置き場所を示し、作り方のマニュアル冊子を作成した。	シラバスの到達目標は、半分くらい達成した感覚だが、何をしていたのか分からず、私語や携帯を触る学生もいたので学生主体の授業ではあるが、システムを考え直す必要があると感じている。
	2134333	保育内容演習(総合表現)(5.6組)	担当の授業で、比較的アンケートに正しく答えてくれそうなクラスだと考えたから。	机間巡視を意識し、道具の置き場所を示し、作り方のマニュアル冊子を作成した。	シラバスの目標達成については、総合表現という事もあり、判断は難しいが、これからも根気強く、音楽と体育との連携を取りながら行っていこうと思います。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
千田 耕太郎	2122013	音楽 I (学保1クラス)	音楽の関係の授業の中で、唯一1年生全員が履修しており、学生の意識や実態を調査したい教科だから。	中間アンケートの結果を受けて、ピアノ担当の教員が、よりきめ細かく予習・復習について指示をするようにした。	アンケート結果より、学保1クラス2クラスとも、ABクラスに比べて予習復習に費やした時間が少なく、自身のシラバスの達成度を低く見ている学生が多かったため、今後学生の意識を高める必要があると感じた。
	2122014	音楽 I (学保2クラス)	音楽の関係の授業の中で、唯一1年生全員が履修しており、学生の意識や実態を調査したい教科だから。	中間アンケートの結果を受け、ピアノ担当の教員が、よりきめ細かく予習・復習について指示をするようにした。	アンケート結果より、学保1クラス2クラスとも、ABクラスに比べて予習復習に費やした時間が少なく、自身のシラバスの達成度を低く見ている学生が多かったため、今後学生の意識を高める必要があると感じた。
工藤 真由美	2210201	日本語表現法A	学生が大変苦手としている日本語表現法の科目で、卒業必修のため、授業に対してどのような思いで臨んでいるのかを知りたかったから。さらには2クラス開講のため、比較対照が可能なため。	1時間目の授業であるため冷房が効いておらず、大変暑い中自習をしていた。改善要望の90%以上が、冷房に関するものであった。そこで、始業前に教室に行き、チェックし事務所に冷房依頼することにした。	参加型やグループワークの授業を取り入れた結果、良かったという意見とともに、定期試験の平均点が10点上昇。概ね到達目標は達成できていると言える。点数と学生の授業参加度との相関については引き続き見極めていきたい。
	2210202	日本語表現法B	学生が大変苦手としている日本語表現法の科目で、卒業必修のため、授業に対してどのような思いで臨んでいるのかを知りたかったから。さらには2クラス開講のため、比較対照が可能なため。	漢字テストは毎回実施し、実力がつくと好評だったので、さらにコメント入りで返却するようにしたところ、さらに励みになったと好評であった。	参加型やグループワークの授業を取り入れた結果、良かったという意見とともに、定期試験の平均点が7.8点上昇。概ね到達目標は達成できていると言える。点数と学生の授業参加度との相関については引き続き見極めていきたい。
奥田 玲子	2240111	食の科学A	ライフデザイン総合学科で担当する前期開講科目のうち、受講人数が最も多い科目であるから。	授業の進行スピードを少しゆっくりにした。全員が理解し、ノートが書けていることを確認しながら授業を進めるようにした。説明をゆっくり、丁寧に行った。	シラバスの到達目標の80%以上を達成した学生は、成績では31%、アンケートでは37%であった。到達度を上げるためには、予習・復習、課題に当てる時間を増やし、学生が積極的に学ぶことを促すような工夫が必要と思われる。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
上田 知美	2210061	くらしのマナー[い]	本科目は、社会人として身につけておかなければならないマナー・一般常識等について修得する内容となっている。履修している学生が、その必要性を自覚できているか、授業の進め方について要望はあるかを把握したかった。	数名の学生から、「進むスピードが速いので、もう少しゆっくり説明してほしい」との要望があった。授業後半からは、そのことに注意を払い、特に重要な箇所などについては、2~3回繰り返し説明するよう努めた。	授業評価アンケート問4の到達目標達成率A~Cの比率合計が86%である。また、成績評価割合のS~Bを修得した学生の比率合計が78.2%である。この結果から、シラバスの到達目標はほぼ達成しているものと考えられる。
	2260201	ビジネス実務総論	本科目は経営や経済など時事ネタを扱う座学の授業であるため、苦手意識を示す学生が多い。授業は、学生が理解しやすい事例を示しながら進めてはいるが、実際に、学生がどのように感じているか知りたかったため。	板書内容を事前にパワーポイントで作成し、学生には重要な箇所を自分で記述させるよう穴埋め式にしたものを授業資料として配布している。「記述する時間をゆっくり取ってほしい」との意見があったので配慮した。	授業評価アンケート問4のA~Cの比率合計が86%で、成績評価割合のS~Bを修得した比率合計が53.3%である。この結果から、こちらが期待した到達目標に達していない学生がおり、次年度、更に授業内容の工夫を試みたい。
安谷 元伸	2211501	情報倫理	単純な講義形式ではない授業形態の展開やeラーニング教材を導入したことで、生徒の動向把握が必要と判断されたため。	授業外学習として設定した課題を忘れてしまうとの意見が寄せられたことから、ユニパ連絡の徹底などによって定期的な学習への意識づけを行った。	シラバスの到達目標達成状況の結果では、授業外学習による一定の成果が見出せるものの、予復習時間は想定より低い結果が見られた。学生への授業外学習の定着を図るためにも、今後も継続と意識づけのための方略を模索したい。
	2250241	表計算演習 I (Excel)	2年生中心の実技教科で、授業に対する忌憚ない評価と意見が得られると判断されたため。	中間アンケート結果が空調などの学習環境に対する意見が中心であったため、座席配置などの考慮を進めた。	シラバスの到達目標達成状況については、概ね想定通りであった。授業外学習の時間も実技教科であるため一定の予復習に時間をかけている状況も確認できた。更なる内容充実を図っていきたい。
伊東 めぐみ	2230012	医療事務総論	前期に担当する授業のうち履修生数が一番多い科目なので、大勢の学生からアンケート回答を得ることができると思い、選びました。	スライドを鮮明に映すため、教室の暗幕をすべて閉めた状態にし、照明も暗めにしていたが「暗いので眠くなってしまふ」という意見があったので、暗幕を開けて照明も明るめにし、逆にスライドを明るくても見えやすく作成した。	実際の評価と学生の自己評価の乖離が見られたので、授業を理解できたかどうかを確認できる問題を解かせるなど、授業について学生が自分の理解度を把握しやすいような授業を行っていきたいと考えている。
	2230011	医療事務総論	前期で履修生が一番多い科目を選びました。2コマに分けて授業を行っているため、この授業のアンケート結果をトータルで得るためには両方のクラスでアンケートを取る必要があると思い、選びました。	こちらのクラスでは、特に改善点についての回答はありませんでした。	次年度もこの授業は二つに分けて行う予定であり、履修者数がどのような割合になるか不明だが、どんな履修者数になったとしても学生が自分の理解度について把握しやすい授業にしていきたいと考えている。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
榑原 和子	2411091	医療的ケア I	学生の理解度の確認と授業への参加(積極性)について知りたい。	授業の改善は全員がなしと回答していたが、学生の積極性の向上を図るため、より質問の量を増やし再確認を実施した。	この授業は、Ⅱ、Ⅲと積み重ねてゆかねばならず、シラバスの達成状況は試験結果からも概ね満足がゆくものと評価できる。
	2419094	認知症の理解 II	学生の理解度の確認と授業への参加(積極性)について知りたい。	この科目は、認知症の理解 I から繋がる内容の為、復習を取り入れ学生の知識を確認させながら展開した。また、より質問量を増やし再確認も多く実施した。	シラバスの達成状況は、授業評価アンケートでは良好の結果であった。しかし、試験結果は半数が不合格となり、今後予習・復習の確認にも重点をおかなければならないと考える。
吉井 珠代	2410731	介護過程 III	今期の私の担当科目で、総福コースでの唯一の教授科目であったため。また、私自身、当該科目は、介護福祉専門職としての根幹をなす援助技術を伝える科目との認識に立っており、学生の反応を確認したかった。	中間アンケートで学生の満足度が高かったため、その後も、学生の反応を確認しながら、アクティブ・ラーニング的な授業運営によりモチベーションを持続させ、学生自身に援助スキルが宿るような練習課題を工夫した。	問2の“積極的な参加を促す工夫”では、86%が「そう思う」。14%が「ややそう思う」と答えており、到達目標を達成できたと考える。しかし問4の“学生の自己評価”では、A,B,C其々に29%が回答し、ばらつきがみられた。
	2132031	子どもの保健 I	保育学科での担当科目として、授業評価を受け、学生の満足度を確認したいと思った。また、予習・復習のための課題の適切さや学生の反応、それらと成績分布(学習成果)との照合など、自己を振り返るためでもある。	毎回、復習として授業のまとめを提出レポートとしたが、学生の多くはまじめに取り組んでいた。また、授業方法も概ね好評であった。要望には、私の早口を直してほしいという学生がおり、以降は修正するよう努力した。	問4の“学生の自己評価”は、A:18%、B:47%、C:20%、D:16%であり、採点による成績分布に近い回答であり、各自、客観的に評価できていると思われる。当該科目は通年科目であり、最終成績で再確認したい。
石川 肇	2410971	障害福祉	障害福祉は自身生涯にわたって取り組みやかかわりを持つ分野であり、その理論や制度の背景の学びの成果を学生の評価を受けることが、自身へのフィードバックとなると考えたため	体的な事例を多く活用し、制度や理論の説明に多くの時間を使った。	予習、復習をする学生は少なかったが、授業の参加態度は良かったと思う。難しい分野の授業ではあったが、おおむね理解が出来たのではないかと思っている。今後の課題はありません。
	2410181	社会福祉実践	ソーシャルワークは自身生涯にわたって取り組みやかかわりを持つ分野であり、その理論や制度の背景の学びの成果を学生の評価を受けることが、自身へのフィードバックとなると考えたため	前半の授業は理論が多く退屈な授業のようであった。その後、外部講師による授業などで、興味が深まったのではないかとされる。	地域の課題を見つけ、改善方法を考え実践すると言うテーマでディスカッションや演習をして取り組んだ結果、学生の興味や関心、理論的思考が高まったと思われる。今後の課題はありません。
鎔 功	2113013	スポーツ I	欠席者の割合が、少なかったから	特になし	あまりわからない

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
林 真千子	2132134	子どもの食と栄養[D]	この科目は、2コマ続きの、講義であるため、残念ながら学生達が授業に集中できない傾向があります。そこで、何とか授業に興味を持ってもらって積極的に取り組んでもらいたいということから、今回の授業評価アンケートの対象に選びました。	学生からの中間アンケートの結果では、板書の書き方や授業のスピードについての指摘をうけました。そこで、板書を見やすく、授業のスピードをもう少しゆっくりすることに努めました。	学生からの授業評価アンケートの結果では、まず、中間アンケートの結果で改善した点に対する反応が良かったこと、そして、テストを含めた成績については、全般的に良く出来ていました。そういったことから、シラバスの到達目標にほぼ達成出来たのではないかと思います。ただ、一部の学生からは、授業の内容が積極的な参加が促されていないという意見もありましたので、今後の改善に努めたいと思います。
城野 富美代	2133033	乳児保育	5・6組は、3限目の授業のため、次の授業がないことから、ゆっくりとアンケートの記入ができることから対象に選ぶ。	黒板の文字を消すのが早すぎといった意見があることから、消す前には、言葉をかけてから消すように試みる。	シラバスの到達目標と成績の比率がだいたい一致していることから、後期の授業で到達目標にどれだけ近づくことができるか、積極的な参加ができる工夫を試みながら授業に取り組んでいく。
	2134151	保育内容演習(言葉・人間関係)	1・2組は、4時限目の授業のため、次の授業がないことから、1・2組をアンケートの対象に選ぶ。	復習によってより理解ができたといった意見が多い中で、復習は簡単でよいといった意見もあり、復習は時間外において個々で行うことを前提に、当日は、その日の授業に取り組んでいくことにしてみた。	到達目標の達成では、そう思う、ややそう思うの比率が65%と低いこともあり、15回の前期授業なので、どこまで理解できているかについて、毎年、課題としていることから、大きく内容の見直しを図る。
美越 芳枝	2134163	保育内容演習(環境・健康)	理由の一つとして、3クラスの中で、このクラスの印象が他のクラスと比較すると、賑(伸び)やかで集中力に弱い反面、思ったことや感じたことを率直に表現できるのではと推測した。	アンケートの結果から、相手の話を整理しながら集中して聴く必要性を説明、また、予習をしていれば問題は解決する。と説明して、一定の理解を得る。	要望等の意見を共に考えることが出来た。しかし、「今まで、試験勉強なんかしたことがない。」と言う言葉に今後の課題が垣間見えた。到達目標には過半数以上到達することが出来なかった。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
小川 健二郎	2133341 2133342 2133343	社会的養護内容	中間アンケートは取りましたが、最終のアンケートを取ることをしていません。理解不足でした。テスト後にユニパにアンケート回答を促す連絡を流しましたが伝わってないようです。申し訳ありません。	現場での実際を伝えているので、生々しく心を揺さぶる内容がある。刺激的で、時には気分が悪くなるという意見があった。現役施設職員として、講義の中で伝えておきたい内容であることを再度伝え理解を得たと感じている。	数名は施設への就職は頭にはないことからモチベーションを引き出せなかった。大半の学生については、社会的養護の実際を感じてもらえ、学生自身の生い立ちを振り返り、自己覚知に触れることができたと感じている。
澁谷 みどり	2112013	英語(英会話A)	一限目の授業は眠い生徒も多いのと、こちらもその日の最初の授業にあたり不安と緊張が入り混じっているため、よくない点が顕著にでるかと考えて選択しました。	全体的に、楽しくてわかりやすいと評価を受けたことはよかったです。なお、声が後ろまで聞こえないなどの指摘があり、これは雑談がかなりひどい事が主な要因なので私語を一瞬でもなくすような対応を心がけました。	授業に対する学習時間は少ないものの、ゼロ時間ではなかったこと、シラバスの到達目標も到達できたことと考える生徒が多かったことは良かったです。今後も、勉強はたとえ10分でもする習慣がつくような授業を考えていきます。
畑野 清司	2223011	プレゼンテーション概論	私の担当する前期の授業科目はこの科目のみです。	中間アンケートの受講生の回答内容は、学生たちは大きな改善を望んではないが、授業担当としては更に理解しやすくビジュアルな資料で授業を続けることに留意しました。また、常に到達目標を示すようにしました。	アンケート結果を見ると学生たちがほとんど到達目標に達成している。しかし、例年に比べると少し、詰めに甘く自習時間が少ないと感じました。
岡本 久仁子	2250251	表計算演習Ⅱ	この科目は2クラス担当しているが、こちらのほうが人数が多かったから。	アンケートでは、授業速度についての要望(進むのが早い)があったので、なんとかそれに応えようと、練習問題のチェックポイントなどをあらかじめ伝えるようにした。	エクセル2級の検定対策授業なので、それに合格できるぐらいの実力を得ることを目標としたが、残念ながらあまり達成できていないと思う。
倉津 三夜子	2242021	アロマセラピー(演習含む)	アンケート対象になっている担当科目はこの科目のみだから。	結果を学生と共有し、改善できないことはその理由を伝え、教師が出来る事は、その事を伝えた。また”私語が多く、授業が進みにくい”との意見について、繰り返し注意する必要があった一部の学生と改善方法を話し合った。	アンケート結果と成績から見て、約80%は達成できたことと考える。積極的に授業を受け、実習に取り組む学生が多かった。一方、理論面の理解が不十分になった。今後、復習課題として設定し、自宅学習を促していきたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
岩崎 初音	2240531	製菓・ラッピング演習	2017年度成果・ラッピング演習前期を担当しております。次年度に向けて学生のアンケート回答を参考にしてより内容を充実させ「学んで良かった」と思ってもらえる改善箇所を知る為。	製菓・ラッピング演習での授業時には毎回、包み、結ぶことで一つの作品に仕上げます。特にリボン結びは学生一人一人の手元を見ながらの指導になりますので説明時に各班ごとに見て回ります。その時、質問した班から周りの他の班にもこちらから声を掛けて回っていましたが、アンケートでは質問の有無は関係なく交互に各班を回って欲しい。と書かれていたので声を掛けられた班が優先にはなりますが公平に回るように心がけました。お菓子作りの方では立ちっぱなしになるので椅子を用意するように書いてありましたが体調が悪い人や理由など申し出が無かったので椅子の用意はしませんでした。	アンケートに答えた学生が12名のうち5名だけでしたので全員のことはわかりませんがノート成績を見る限りお菓子もラッピングも美味しく正しく仕上げているので授業後自宅で再度作りラッピングをし喜ばれたとの報告もありましたので到達目標に達した学生もいたと思います。9月1日に行われるラッピングコーディネーター資格試験にも5名の学生が受験いたします。学生にアンケート回答を求める声掛けをする度に「もうしました」との返事でしたが、実際には12名中5名でしたので今後の課題として履修学生全員のアンケート回答がされるよう検討をお願いいたします。
鶴田 美香	224012	色彩基礎 I	質問や声かけが活発で、分からないところなどを気軽にシェアできる明るい雰囲気があったクラスです。恥ずかしいという気持ちではなく、当たり前質問が飛び交うところが良かったです。	授業の講義のスピードが早い学生がいたので、授業開始時に前回の復習を取り入れたり、図解の説明増やしました。講義形式よりも課題プリントを作成する段階で個別でフォローすると、理解ができるようでした。	課題で質問が多い学生もいますが、個別説明をすると理解でき、成績においては基準をクリアできています。色彩の日常的活用にまで結びついていないようなので、活用プランニングを自分で立てる練習を入れる。
	224011	色彩基礎 I	すこし静かで、真面目な雰囲気なクラスでした。一年生が大半で緊張がみられましたが後半になると、気軽に声がかかるようになってきました。	自分からは声をかけにくい、先生のほうから全員に声をかけてもらえると、話しやすくなっていくということでした。一人一人に対する声かけをしました。課題の量が多いということで進み具合にあわせて内容を一部簡素化しました。	後半緊張感がゆるみ課題プリントの出来が雑になりましたが、課題点数としては基準をクリアしています。色鉛筆を使用したプランニングが楽しそうでした。自己表現がもっとできる課題を検討したいと思います。
吉田 弘	2260301	簿記入門	授業の反省と改善のため。	例題と演習問題を相互に関連させ、学習事項の理解を確実に深めるように留意した。	授業の進行と理解度の兼ね合いの難しさを痛感した。
中村 勝則	2255121	ウェブデザイン II	担当している唯一の科目だからです。	板書(スクリーン)の文字を大きくする。説明の速度を少し落とす。	基礎的知識の部分は概ね習得していただいた感があります。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
森田 浩司	2252021	情報システム論	この科目のみの担当でした。	学生自身に調べ物を課して、自ら答えを探して記入してもらう内容を増やしました。	アンケート上、到達目標の60%を超えていると回答した学生が9名なのに対して、実際の成績で60点以上の評価をしたのは5名と若干乖離があるかと思う。
杉井 俊二	2230211	公衆衛生学	担当講義が「公衆衛生学」のみであるため	<p>特に改善・工夫はしなかった。その理由は、第1回目の講義で、「公衆衛生学は医学の一分野であり、短大1年生にはかなり難しい授業内容なので、予習・復習をしないと理解すること非常に難しい」と受講生に説明している(シラバスにも同様の内容を記載している)。</p> <p>しかし中間アンケートでは、「教科書のどこを講義しているのか判らない」あるいは「勉強の方法を教えて欲しい」という意見が多かった。</p> <p>中間アンケートの結果を見る限り、公衆衛生学を履修して理解できる学力に到達していない学生が多いと判断せざるを得なかった。</p> <p>当該科目は選択なので、それ以上のことは学生の個人の判断に任せている。以上のような理由で、中間アンケートの結果を受けて、授業の改善・工夫は行っていない。</p>	<p>「教科書持ち込み」で定期試験を実施したので、試験結果とアンケート結果とは一致していない。シラバスの到達目標の達成状況については、残念ながら正確な判断はできない。講義中の学生の「居眠り」の割合から判断すると、達成状況は高くないと想像している。今後の課題として、以下のような点が考えられる。公衆衛生学(講義)は、一般的には、高学年の学生を対象にした通年科目(講義回数30回)で開講している大学が多い。しかし、本学では講義回数15回の開講なので、1回の講義内容の項目が多すぎる。また「公衆衛生学」は医学の一分野の応用科目である。医学分野の科目は、基本的に難しいので、短大の1年次前期に開講することは適切ではないかもしれない。アンケートの結果については、「居眠り」や「勉強不足」の学生の意見が反映されているので、それ自体は驚かない。しかしアンケート結果に基づいて、毎回、講義内容の改善を求められるが、そろそろ限界ではないかと考えている。履修生の理解を深めるために、開講時期(時間割)の変更を検討、また講義で説明した後には教科書の記載事項を理解できる学力の学生の選抜、などが必要な時期が来ているように考える。そうでなければ同じことの繰り返しになると思う。</p>

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
橋尾 晋平	2210311	英語(英会話A)[い]	このクラスと水曜2限のクラスのみ担当しているため。どちらのクラスに対してもアンケートを実施しております。	中間アンケートによると、概ね問題なく授業ができているとのことでしたので、特に軌道修正などは行わず、前半と同じように授業を進めました。	シラバスの目標が80%以上達成できたとした学生(アンケート結果)と評定がA以上となった学生がいずれも5割以上でよかったと思います。意欲的に取り組む学生が多く、テストでもその成果が出ていました。
	2210312	英語(英会話A)[ろ]	このクラスと上記の水曜1限のクラスのみ担当しているため。どちらのクラスからも学生によるフィードバックをもらいかけたので、どちらのクラスに対してもアンケートを実施しております。	中間アンケートによると、概ね問題なく授業ができているとのことでしたので、特に軌道修正などは行わず、前半と同じように授業を進めました。	到達目標が80%以上達成できたとした学生が非常に少なかったのに対し、評定がA以上となった学生は多く、自分たちが取り組んできたことにもっと達成感をもってもらえるように改善していきたいと存じます。
山本 みどり	2210062	くらしのマナー[ろ]	前期担当はこの科目のみのため	「問題演習の答をすべて板書してほしい」という要望に対し、パワーポイント後半は全て表示を行った。また「授業が進むのが早い」という声に対し、常に「ここまでで分からないことは？」と学生の理解度を確認した。	予習・復習・課題に当てた時間の短さ(30分未満が36%)が、多くの再試験該当者(不可)を生み出し、到達目標に届かない学生がいる。予習・復習をどう徹底させるかが今後の課題である。
	2210061	くらしのマナー[い]	前期担当はこの科目のみのため	「指名して当て過ぎ」、「指名されると緊張する」という声に対し、「緊張感があっていい」という声もあったため、「指名するのは正解を求めているのではない。学生の理解度を知らため」と説明をし、後半も継続した。	1時間以上予習・復習・課題に当てた学生(44%)は、社会人として恥ずかしくない敬語を使える(話す・文書を書ける)レベルに到達したと思われる。予習・復習をしっかり徹底させることが今後の課題である。
兵頭 真由美	2230121	医療秘書実務	担当科目(クラス)が、こちらのみでした。	プリント資料をさらに欠席した場合でも分かるように改善を加えました。テキストを進める場合には、ページを口頭と板書しながら進めるなど改善致しました。	最終評価の平均点数より、シラバスでの到達目標はおおむね達成できたと考えます。今後は、さらに学生皆さんが医療機関で活躍できるように授業を進めて参ります。

2017年度後期「授業評価アンケート」報告書

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
曾和 信一	2133131	児童家庭福祉	保育学科において、当該科目が私の主たる担当科目のひとつであり、保育士資格必修科目という関係もあり、保育学科の全員が受講学生であるといく関係から、そのアンケートの対象に選びました。	中間アンケートの授業評価を受けて、絵本の読み聞かせ、DVDの視聴及びパワーポイントでの授業展開の三者のバランスをとることに配慮したところです。	多くの学生が毎週の授業に積極的かつ真面目に臨んでくれたことと相まって、定期試験は全員が合格点をとり、シラバスの当初目標をほぼ達成できたものと思われます。
	2133132	児童家庭福祉	保育学科において、他の組の授業アンケートの結果と何がどこまでどのように同じで、どこが異なっているのかを理解することで、ある程度比較対照ができるのかどうかということを考え、授業評価のアンケートの対象に選びました。	受講学生から中間アンケートにおいて自由記述で授業評価を踏まえて、その授業内容のより深い理解の促しに配慮したところです。	アンケート結果を踏まえて、アクティブラーニングの進行に留意しながら授業に取り組みましたが、そのこととも関連して、定期試験は当該クラスの全員が合格点をとり、シラバスの当初目標を達成できたものと思われます。
長谷 秀揮	2124041	生活Ⅱ	この授業は、後期の担当科目の中で、最もと言ってよいほど授業準備や参考資料等の作成に時間をかけ、そして力を入れている授業科目であるので、教員として学生の評価をぜひ知りたいたいと考え対象に選びました。	授業のパワーポイントについて、次に進めるスピードが少し速いという意見が若干あったので、要点をノートする為の時間を長めにし、より確実にノートできるように改善・工夫しました。	回答から見て全体の約8割弱の学生が到達目標をよく達成することが出来ていて、そして約2割の学生もほぼ到達目標を達成することが出来ていると考えられます。しかし授業の改善・工夫が一層必要と捉えています。
鍛冶谷 静	2131341	発達心理学Ⅱ(1・2組)	他の科目がオムニバスであるため。	事例を用いたの授業が分かりやすいとのことだったので、さらに学生がイメージしやすい事例の提示、説明を心掛けた。	学生の自己評価と実際の成績のギャップは少なかった。「眠くなる」との声もあったので、学生の理解力に応じて、もう少し内容を高度に深めてみるのも良いかもしれない。
	2131342	発達心理学Ⅱ(3・4組)	他の科目がオムニバスであるため。	書くことが多い(板書)とあったが、内容的にはかなり絞り込んでいるつもりなので、パワーポイントの出すタイミングなどを考慮し学生の負担感を減らす努力をした。	授業態度が熱心な学生が多いという印象と大きく乖離しない成績だった。さらに探究的な授業の展開を考えていきたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
山田 秀江	2136553	教育実習指導 I	特にないが、他のクラスとの違いは、1年生のみのクラスであった。	実践的な話が聞けて、勉強になるという意見に対しては、より意識的に教材研究や模擬保育を取り入れた。また、授業の進度が早いという意見が多くあり、できるだけゆっくりと学生の状況を見ながら、進めるように努力した。	約70%の学生が到達したと回答していた。残り30%については、指導案作成や教材研究の等に関して、習得できていないと感じたと思われる。全ての学生が習得できるような、授業内容の改善と、丁寧な指導を行いたい。
千田 耕太郎	2122011	音楽 I	資格取得のための必修科目の中で、最も多くの音楽研究室の教員が携わっている科目であり、授業改善に向けて課題も多い科目だと感じているから。	中間アンケートの結果から、改善点や問題点を述べた学生は少なかった。しかし、学生がピアノに向かうモチベーションを上げるため、時間を掛けて練習すれば上達し実力がつく。ということ、全教員で学生に語るようにした。	学生のアンケート結果から、シラバスの到達目標を70%以上達成していると答えた学生が8割を超えているが、その反面単位を落とす学生も依然として多くおり、授業内容や学生への課題の量も含めて見直す必要があると感じている。
工藤 真由美	2121023	言葉と表現Ⅱ (5, 6組)	5時間目の授業で、学生の授業への参加度、集中度が極端に低下する時間帯ではないかと思い、選んだ。さらに所属学科以外の保育学科の学生の満足度も認識したいと思ったため。	漢字テスト実施への抵抗が見られたが、なぜ必要なのか、なぜこのレベルが必要であるのかについて、説明した。取組姿勢が変わったように思う。(1ヶタ得点は皆無になった)	文章と向き合い、読み、書き写し、考えて書く、この作業が大変苦痛であるように見受けられたが、繰り返し訓練することを通して、意識の上では敬遠することがなくなった。シラバスの達成からするとほぼ達成。
	2211201	教養の文学	選択科目であったため、積極的な学生の受講態度や、そのような学生が抱える課題が見えてくるのではいかと思ったため。	一律に課題小説を順に読んでいくのではなく、一人で好きなスピードで読ませてほしいという意見があった。各自で家で読んでくることは妨げないとして、満足が得られた。	文学に対して、ジャンルは様々でも基本的に興味を持っている学生集団であったため非常にレベルが高く、好成績を達成した。シラバス到達度はほぼ100%に近いといえる。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
上田 知美	2260182	接客演習(1年のみ)	本科目の到達目標として「サービス接客検定準1級」の資格取得を掲げているが、授業を進める中で指導方法等について、実際に履修生がどのように感じ、また当初のモチベーションを保ち続けているかを把握したかった。	授業の改善点として1件「演習の時間をもっと増やしてほしい」との回答があった。この要望には、授業前半は試験の知識(筆記)試験対策、授業後半は面接(実技)試験対策であることを再度理解してほしい旨伝えた。	アンケートの回答率が41.7%と低いが、12名の履修登録者の内、出席率0%の1名を除く11名の実履修生全員、「サービス接客検定準1級」試験に合格したことから、シラバスの到達目標を100%達成したと考えている。
	2260261	ビジネス文書	本科目は、講義と毎回の練習問題作成および課題提出により、ビジネス文書作成の基本能力を身につけるよう指導しているが、授業の進め方等について、履修生たちがどのように感じているかを把握したかった。	授業についての改善点として1件だけ「たくさんの模範解答があるので少し難しい」との回答があった。文書作成能力を身につけるためには、手本となる正しい文書を真似ることも一つの手であることを伝え理解を求めた。	アンケートの回答率が非常に低いため、アンケート結果と照らし合わせて回答し辛いところである。しかし、学生の成績から判断するに、シラバスの到達目標として掲げた項目についてはほぼ達成したと考えている。
安谷 元伸	2211502	情報倫理	履修する学生の人数も多く2学年にまたがるため、多様な授業評価が得られると判断したため。	教室後部の学生から、パワーポイント資料の字が見にくいとの感想が挙げられていたことから、出来る限り文字を大きく、提示資料や写真、文字などの色彩も視認性の高いものを用いるようにした。	達成度Dを付けた学生が1名であり、かつ6割強が80%以上の達成を答えている点から、中間アンケート後の授業改善が有効的に機能した結果、比較的高い目標達成に至れたと考える。
	2255111	ウェブデザイン I	比較的難易度の高い演習系の授業であるため、学生の授業に対する感覚などを把握するため。	中間アンケートでは、内容に難しさを感じている学生が見られたため、内容をプリントにまとめる、復習を兼ねた演習の導入などを行った。また、演習の時間にゆとりを持たせるようにした。	中間アンケート後の授業改善によって、96%の学生が80%以上のシラバス到達目標を達成できたと回答するに至った。そのことから、改善として取り組んだ内容が一定の有効性を示すものだと考えられる。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
伊東 めぐみ	2230031	医療事務Ⅱ	「医療事務Ⅰ」に引き続き点数算定の根幹を学ぶ内容となっており、医療事務の学習としては必須であることから医療事務を選択している学生のほとんどが履修しているため。	より実務に即した形の問題を演習として行いたいという要望があったため、できる限り実務で記載する書式(レセプト)を使用した演習内容とし、宿題もレセプト形式の問題を多く取り入れた。	レセプト作成技術に関してはかろうじて可能程度の到達度に留まっている学生が半数以上という結果であった。反復練習が不可欠なので、学生が自ら時間外学習の時間をもっと増やしたくなるような講義が必要であると実感した。
	2235011	医療事務のための医学知識Ⅰ	学生に見せる授業スライドについて、写真やイラストで説明する部分を昨年度より増やし、説明方法も一部変更したため、学生の反応がどのようなものであるか自分自身で確認したかったため	授業内で行う例題の答えをスライドで表示する時間が短すぎるとの声があった。履修人数が多いため、バラつきが出てしまうのだが、授業後に教員に確認する時間を毎回とるようにして対応した。	医療事務職として必要な知識については、定期試験の結果からすると三分の二以上の学生が理解できていると考えられる。今後は今現在だけでなく継続力のある知識として身に付けられるような授業にしたい。
赤田 太郎	2271112	臨床心理学	私自身の専門の核となる科目にあたるため。	パワーポイントを板書させる形で講義を展開していったのだが、ペースが速いと指摘されたので、記入すべき板書の量を調整した。	講義の改善に関するアンケートでは、回答者全員がそう思う、ややそう思うを選択された(100%)ので、改善され、到達目標を十分に達成できたと考えています。
	2271141	発達心理学	講義回数ごとにワークシートの提出を求めた科目のため。	改善の要求はなかったが、2名を除いて改善されたと言う回答であった。	到達目標としてCDEを選択した学生が42%もあり、十分に目標を達成することができていない結果となったため、短大生向けの改善を今後考えていきたい。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
吉井 珠代	2132031	子どもの保健Ⅰ	通年科目であるので、前期の評価結果と比較検討して、次年度の授業に生かすため。また、「復習課題:授業の学びをノートにまとめる」が、学生にどのように受け止められ、到達目標達成に寄与させられたかを確認したかったため。	授業方法を改善(早口を改め、板書を増やした)させた。また、「復習課題ノート」も学生の希望(配布資料の貼付を許可し、枚数制限を緩めた)を採用したところ、後半のノート完成度が上昇し、成績が向上した。	問4の回答(学生の自己評価)が、A:54%、B:28%、C:13%、D:5%となり、私の採点結果と近い結果となったため、授業の到達目標はある程度達成できたと考えられ、次年度も同様の授業運営をしたい。
	2411111	医療的ケアⅢ	実技演習系科目であるため、今年度、授業回数を135分×10回(前年度は90分×15回)と改めたため、その効果判定をしたかった。	受講生が5名と少人数であり、1回の授業時間を伸ばしたことにより、学生の実技体験(手順把握)機会が増え、ケア実施スキルは大幅に向上した(実技テスト点数および試験成績)	問4の回答(学生の自己評価)が、A:20%、B:60%、C:20%となり、私の採点結果と近い結果がでたため、授業の到達目標はある程度達成できたと考えられる。
鎔 功	2113024	スポーツⅡ	特になし。しいて言えば、2限目なので、授業が延びても、昼休みがあるので。	前半は、実技だったので楽しいとか、もったよかったの意見が多かったが、後半は、講義なので、要望に応えられなかった。	授業が楽しいとか、もったよかったと答えた学生は、多分出席率もいいと思うので、成績も良かったと思うが、出席率の悪い学生は、残念だったと思う。実技と座学の差がありすぎ、学生のテンションが下がったと思う。
林 真千子	2240131	食品・食材の知識A	この授業は、食品及び食材についてその種類や調理特性等を幅広く学ぶ科目であり、講義スタイルの授業である為、学生の授業の理解度を測りたく思い対象に選びました。	中間アンケートでは、視聴覚教材の取り入れを希望する学生の意見がありましたので、前年度より視聴覚教材の取り入れ回数を増やしました。	授業評価アンケートと学生の成績からほとんどの学生が授業内容を理解できたと言えますが、一部の学生においては理解度が低いこともあり、今後の課題としてもう少し学生が積極的に参加できる授業展開に努めたいと思います。
美越 芳枝	2134322	指導法の研究	4. 5. 6組が1. 2. 3組より消極的(真面目)である為、深層の思いは？との興味から選択。	中間アンケートを集計して公表、プリントアウトして配布。①改善する②方針として改善(改悪)しない。ことを説明する。①については、【話す速度を、ゆっくりしてほしい】については、ゆっくり話すように努力した。	シラバス作成時には、学生の学力等々が判断できないので、難しい。シラバスの達成目標の達成状況は80%程である。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
澁谷 みどり	2112021	英語(英会話B)	前期とは違うクラスが1限目の授業になったこと、前期とはクラスの雰囲気もよく学習に対する取り組み姿勢がよかったのどう結果が違うのかを見るために選択しました。	リスニングを必ず行っている点や説明などが分かりやすいなどが評価されていたようです。クラスの雰囲気が良いことが授業の進行に相乗効果をもたらしたと考えます。	全体的に学習時間は少なめですが、最低でも半時間は確保することに成功していると言え、シラバスの到達目標達成状況が高く、学生の成績から考えてもテキストを終了できたことが達成感につながったのではないかと考えます。
塚口 百合子	2134031	教育課程	1教科担当の為。	生徒間の討論を含めて、人前での発表の機会を増やす。	保育現場を想定した授業内容で、目標の達成をはかった。
伏木 真理子	2212121	くらしと政経	担当しているのは、この科目のみなので。	説明が長く、また発展的な内容まで含めて説明すると、要点がわからなくなるとの声があったので、説明は簡潔にするようにした。	学生実感の達成度合は、B86%、C14%で、成績はS12.5%、A・B・C各々25%、H12.5%で、概ね一致。今年度のシラバス内容、教材を継続していく。授業外学習時間が少ないので、課題への取り組み方の指示をより具体的にする。
真下 摩里	2133041	在宅保育	3限目のクラスに比べ、反応の良い学生が多く、質問に対して積極的に答えてくれるので、このクラスで実施した。	好評価が多く、特に復習をしてくれるから良いという意見が多かったので、引き続き実践した。改善すべき点は、特になしが多かったが、1人のみ板書の書き方に意見があったので、整理をして書くように努めた。	3分の2の学生が目標に到達できたと答えているのに対し、残りの学生がそう思わないと答えていて、試験成績も悪くきっちり比例している。今後、復習に重点をおき、中間テストを取り入れて判断基準を設けたい。
保科 和久	2230301	社会福祉概論	担当がこれのみ。	板書等工夫したつもりだが、さらに改善が必要であると感じた。	内容が難しい割には、成績はまずまず。一定程度の到達は出来たと考える。
堀口 節子	2136311	教育相談	1教科のみの担当。	パワーポイントやプリントを使用して、講義を聞くだけでなく、内容を見て分かるように工夫した。授業態度の悪い生徒(私語、居眠りなど)に、積極的に声かけを行い、授業に集中するように促した。	8割以上の生徒が、7割以上の達成感を実感していると回答があった。達成感の高いクラスの方が、成績が良かった。
佐野 豊	2133332	社会的養護	授業の中で1、2、3クラスからプリントが多く整理が難しいので、分かりやすくして欲しいとの要望があった。4、5、6クラスは、要望等は特になかったため、自由記述の中間アンケートを実施し改善点等を把握することにした。	両クラスとも、中間アンケート後に最初から通し番号を付けることにより、単元レジュメと参考資料をクラス全体で整理した。以後、それぞれのプリントの右上に通し番号を付し各自整理しやすくなった。	プリントの整理を授業ごとに指示していたので、プリントに付箋などを貼り重要部分を整理している学生も見受けられた。欠席した学生も何番のプリントが抜けているかなど把握しやすかったようである。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
柳本 哲	2135012	情報機器演習	特になし	説明をゆっくり丁寧に行うこと。	授業終了段階では目標はほぼ達成できていると考えられる。しかし、パソコンOffice2010の操作については、常々使っていないと能力も落ちていくであろうと予想される。定期的に反復して使い続けることが重要である。
畑野 清司	2251111	プレゼンテーション演習(PowerPoint)	この科目は発表のための「作品の完成やり直し」に授業時間外で対応する学生が多い。その実態や現状を知るため、前期の「プレゼンテーション概論」に引き続いて対象として選んだ。	中間アンケートには改善点を記入した学生はいませんでした。しかし、出来るだけ多くのアドバイスやヒントを個別に与え具体的に指導した。	ほぼシラバスの到達目標は達成したと思う。各ステップ発表ごとに感想文を書かせて「うまく行った点、改善したい点」を明確にした。その結果、学生は常に改善目標掲げて努力した。
黒田 恭史	2250142	文書処理演習Ⅱ	非常勤ですので、科目数が限られているため。	授業の進度について調整しました。	大半の学生は、到達目標に達していたが、数名の学生がなかなか達することができなかった点が課題として残された。
	2250143	文書処理演習Ⅱ	非常勤ですので、科目数が限られているため。	授業の進度について調整しました。	大半の学生は、到達目標に達していたが、数名の学生がなかなか達することができなかった点が課題として残された。
小野 清和	2221071	ブライダル検定	検定に合格する為の授業で学生の意識も同じ目標を目指しております。学生の検定に対する意識確認の為に実施。	過去問7割、応用編3割の構成を意識付け基礎を徹底強化する。	良く頑張ったと思います。
	2221031	ブライダル演習	授業に対する方向性が共通している中で学生の意識の動向性を確認する為。	実施日が決まっている為に、その目的に向けての問題定義の掘り出しを強化した。	良く頑張りました。かなり成長したと思います。
山口 好	222104	ブライダル演習Ⅱ	一年生で模擬挙式・披露宴を体験した学生が2年になってブライダルショーの目的も良く理解しており、自分だけの役割だけでなく、後輩の指導や、問題改善策等を実行していく事での学生の意識動向の為に実施いたしました。	目標に対する問題意識改善の強化を具体化する。	学生達も良く頑張り達成出来たと思います。
叶 雅夫	224221	インテリア論	座学と演習の両方を行う授業内容を、学生がどのように考えているかという事で、アンケートを取りたく思った。	色の雑学や椅子の作り方を教え、インテリア以外の制作の入り口をふやす事で、インテリアに対してより興味を持つようにした。	ただ単なる住居というのではなく、より豊かに、より住人に適応した室内空間を少しは考えられるようになった。

教職員氏名	【授業コード】	【科目名】	1. この科目(クラス)を今回の授業評価アンケートの対象に選んだ理由について述べて下さい。	2. 中間アンケートの結果を受けて、授業を改善・工夫したことについて述べて下さい。	3. 授業評価アンケートの結果と学生の成績から見た、シラバスの到達目標の達成状況について述べて下さい。(今後の課題も含む)
鶴田 美香	2224021	色彩の基礎Ⅱ	色彩の基本の勉強と検定につながる授業であるため。	個別の対応に満足する、という点が良く書かれていたので、後半も席を回り理解の手伝いをおこなった。空調の不満が多かったので、事務所にお願いした。	シラバスの到達点は多くの生徒のなかで達成されている。前期の復習も積極的に取り入れ、知識の定着化をはかった。学んだ知識をどのように活用できるかの発想に結び付けるかが今後の課題。
森田 浩司	2253121	マルチメディア演習	今期の担当が1科目でした。	パソコンの設定などの情報を紙媒体で出力して欲しいということだったので、設定の手順を解説したパワーポイントデータを共有することにした。	ほぼ全ての学生が単位認定の基準をクリアしていた。シラバスの到達目標についても達成できていると感じている。
橋尾 晋平	22621	International Communication	今期は「社会人の英会話」、「英語(英会話B)」と当科目の3つの科目を担当しましたが、当科目が一番受講生が多いクラスだったため、アンケート対象として選ばせていただきました。	中間アンケートでは、特に授業で改善することに対して、学生からコメントがありませんでした。ただし、中間テストが全体的に芳しくなかったため、より丁寧に指導していくことを心がけました。	学生の英語力も多様なため、ややクラス運営が苦慮しましたが、中間テストが奮わず、途中から危機感を持った学生も多く、全体的には努力された学生が多いように思います。
山本 みどり	2260191	オフィスマネージメント	後期単独で担当授業は本科目のみのため。	進み方が早いため、問題をじっくり考えたり、解説をノートする時間が足りないと感じる学生が複数いたことを受け、全員がノートを取り終えているか、十分な配慮・確認をして進めた。	1週間の予習・復習時間が30分～1時間(50%)というは少ない。それは小テストの結果に如実に表れており、再三にわたり成績不良者に対して警告を発してきた。家庭学習時間をどう確保させるかが今後の課題と考える。
兵頭 眞由美	2230122	医療秘書実務	担当科目(クラス)が、こちらのみでした。	後期は、少人数のクラスだったこともあり、『わかりやすい50%』『特になし40%』『無記入10%』でした。毎時間必ず全員に最低2回は答えてもらえるように進め、発言できる機会を多く取るようにいたしました。	後期の最終評価の平均点数は78.6点でした。シラバスでの到達目標はおおむね達成できたと考えます。今後は、復習時間をもっとしっかり取れるように課題問題を改善してまいります。
平塚 聡	2255141	ウェブプログラミング演習	唯一の担当授業であるため	一部にはテンポが良いと評価してくれる学生もいたものの、大半の学生からはプレゼンテーションスライドの切り替えが早すぎて理解が追いつかないという回答があったため、ゆっくりと説明し、理解を促すための口頭試問を増やした	基本的論理構造を最初に教えたのが却って分かりにくくなり、表面的な理解に留まってしまった学生が多かった。次年度は具体的な問題を先に与え、記述の自由度を高めるために論理文が有用であるという流れで授業を進めたい。

授業評価報告書 2017

—よりよい授業への改善を目指して—

2017 年3 月発行

編集 四條畷学園短期大学FD 委員会

FD 委員長 榊原和子

FD 委員 鍛冶谷 静 安谷元伸

発行 四條畷学園短期大学

〒574-0001

大阪府大東市学園町6-45

TEL : 072-876-1321